minimoog VOYAGER Rackmount
バージョン３．５ 追補マニュアル

バージョン３．５では下記の機能が追加されました。このマニュアルでは変更あるいは追加された機能について説明しています。バージョン３日本語取扱説明書の本文の同項目については、この追補マニュアルの説明でご使用ください。

■MASTERモード

MASTERモードで次のリストの太字の機能が変更、追加されました。

V3. 4のMASTERモード・メニューリスト	V3. 5のMASTERモード・メニューリスト
1.1 MIDI Prg. Change 1.2 MIDI Channels 1.3 MIDI Out ON/OFF 1.4 MIDI Merge Func. 2.1 Send Panel Sound 2.2 Send Presets 2.3 Receive Presets 2.4 SysEx Device ID 3.1 Key Transpose 3.2 MIDI Key Order 3.3 MIDI Run Status 3.4 Copyright Info 4.1 Software Version 4.2 Send System ROM 4.3 Send Boot System 4.4 Receive Update	**1.1 Local Cont.rol** **1.2 MIDI IInput/Output** 1.3 MIDI Run Status 1.4 MIDI Merge Func. **2.1 MIDI Prg. Change** **2.2 Glide Function** **2.3 MIDI Punic Func.** **2.4 Storage Mode** 3.1 Send Panel Sound 3.2 Send Presets 3.3 Receive Presets 3.4 SysEx Device ID 4.1 MIDI Transpose（Key Transpose） 4.2 MIDI Key Order **4.3 Release Function** 4.4 Copyright Info 5.1 Software Version 5.2 Send System ROM 5.3 Send Boot System 5.4 Receive Update

1.1 Local Control
V3.4でPANELモードにあったLocal Controlメニューは、V3.5からMASTERモードメニューに移しました。操作は同じです。

1.2 MIDI Input/Output
V3.4のMIDI Out ON/OFとMIDI Channelsの設定を１つのページで設定するように変更しました。設定項目は同じです。

2.1 MIDI Prg. Change
MIDIプログラムチェンジの受信（Receive）、送信（Transmit）のオン/オフを設定します。受信オフのときは、パネルの操作でのみプリセットを選択できます。

2.2 Glide Function

V3.4でPANELモードにあったGlide Functionメニューは、V3.5からMASTERモードメニューに移しました。操作は同じです。GLIDEのオート・オン/オフ機能を使うか（YES）使わないか（NO）を設定します。

2.3 MIDI Punic Function

V3.4でPANELモードにあったPanic Buttonメニューは、V3.5からMASTERモードメニューに移しました。操作は同じです。この設定をYESにすると、PANELまたはEDITボタンの選択からMSTERボタンを押したときにAll Note Offメッセージを出力します。

2.4 Storage Mode

EDITのSave Presetメニューで、エディットしたプリセットを現在の位置とは違う番号に保存した際に、その保存先のプリセット番号に移動するのがStorage Modeです。この設定をYESにすれば、保存後、保存先のプリセット番号に移動します。NOであれば、これまでどおり、エディット中のプリセット番号が選択されます。

4.3 Release Function

V3.4でPANELモードにあったRelease Functionメニューは、V3.5からMASTERモードメニューに移しました。RELEASEのオート・オン/オフ機能を使うか（YES）使わないか（NO）を設定します。

■EDITモード

EDITモードで次のリストの太字の機能が変更、追加されました。

V3. 4のEDITモード・メニューリスト	V3. 5のEDITモード・メニューリスト
1.1 Compare to preset	1.1 Compare to preset
1.2 Recall last Sound	1.2 Recall last Sound
1.3 Init. Parameters	1.3 Init. Parameters
1.4 Pitch Bend Amt.	1.4 Pitch Bend Amt.
2.1 Pgm. M. Whl. Source	2.1 Pgm. M. Whl. Source
2.2 Pgm. M. Whl. Dest.	2.2 Pgm. M. Whl. Dest.
2.3 Pgm. Pedal Source	2.3 Pgm. Pedal Source
2.4 Pgm. Pedal Dest.	2.4 Pgm. Pedal Dest.
3.1 Pgm. Shaping 1 SRC	3.1 Pgm. Shaping 1 SRC
3.2 Pgm. Shaping 2 SRC	3.2 Pgm. Shaping 2 SRC
3.3 Keyboard Modes	3.3 Keyboard Modes
3.4 Trigger Modes	3.4 Trigger Modes
4.1 Fil. A Pole Sel.	**4.1 Glide Modes**
4.2 Fil. B Pole Sel.	**4.2 Filter Pole Sel.**
4.3 Fil. Env Gate SRC	4.3 Fil. Env Gate SRC
4.4 Vol. Env Gate SRC	4.4 Vol. Env Gate SRC
5.1 T.S. Destinations	5.1 T.S. Destinations
5.2 T.S. Mem. Mod Bus	5.2 T.S. Mem. Mod Bus
5.3 T.S. Mem Global	5.3 T.S. Mem Global
5.4 Pot Mapping S/D	5.4 Pot Mapping S/D
6.1 MIDI Clock Divider	6.1 MIDI Clock Divider
6.2 Sound Category	6.2 Sound Category
6.3 Preset Name	6.3 Preset Name
6.4 Save Preset	6.4 Save Preset

4.1 Glide Modes

グライドを使用する際の動作の仕方を、８つのモード（Mode）から選択します。プリセットに保存されます。

Mode 1: これまでと同じグライド。演奏時、常にグライドが掛かります。
Mode 2: レガートグライド。レガートに演奏したキー間でのみグライドが掛かります。
Mode 3: レガートに弾いた２番目のキーに対してのみレガートが掛かります。その後に続けて弾かれるキーにはグライドは掛かりません。
Mode 4: レガートに弾いた２番目のキーから最初のキーに戻る時のみレガートが掛かります。その後に続けて弾かれるキーにはグライドは掛かりません。
Mode 5: レガートグライドの逆モード。最初に弾いたキーに対してのみグライドが掛かり、レガートに弾いたキーにはグライドは掛かりません。
Mode 6: モード４と５の組合わせでグライドが掛かります。
Mode 7: レガートに演奏して、最初に弾いたキーに戻る時のみグライドが掛かりません。それ以外は常時グライドが掛かります。
Mode 8 : レガートに弾く２つのキー間で、順にグライドのオン/オフが交互に切り替わります。

4.2 Filter Pole Sel.

V3.4のFil. A Pole Sel.とFil. B Pole Sel.の設定を１つのページで設定するように変更しました。設定項目は同じです。

■PANELモード

PANELモードでは、メニューの追加はありませんが移動でリストが変更になりました。

V3. 4のPANELモード・メニューリスト	V3. 5のPANELモード・メニューリスト
1.1 Quick Mode 1.2 Parameter Display 1.3 Master/HP Volume 1.4 Real Panel Parm 2.1 T.S. Reduction 2.2 Glide Function 2.3 Release Function 2.4 Help/Category 3.1 Local Controls 3.2 Panic Button 3.3 HP --> Mod Wheel 3.4 Lcd Contrast	1.1 Quick Mode 1.2 Parameter Display 1.3 Master/HP Volume 1.4 HP --> Mod Wheel 2.1 T.S. Reduction 2.2 Real Panel Parm 2.3 Help/Category 2.4 Lcd Contrast

V3.5 では、メニューリストにはない、PANELモードで追加された機能があります。

クイックセーブ：PANELモードで、プリセットをエディット後、MASTERボタンを２回続けて押すと、現在のプリセット位置に保存されます。

カテゴリー閲覧：PANELモードで、ENTERボタンを押すと、現在のプリセットと同じカテゴリーの次のプリセットが呼び出されます。これにより同じカテゴリーに属するプリセットを連続して呼び出すことができます。また、ENTERボタンを押しながらCURSORボタンを押すと、逆順で呼び出すことができます。

Voyager RMEのアップデート

アップデートに関する注意：
＊メモリー仕様がバージョン３のVoyagerは本**OS ３．5**にアップデートできます。
＊メモリー仕様がバージョン３未満のVoyagerは本**OS ３．5**にアップデートできますが、プリセットのバンクは１つだけのままです。メモリーを増やすためにはメモリーのアップグレードが必要です。
＊本説明書が付属している製品を購入された方は既に本**OS ３．5**にアップデートされています。
＊アップデートに使用するファイルは必ずラックマウント（RME）用をご使用ください。キーボード用を使用すると一部動作が不完全になります。

注：メモリーのアップグレードは有償です。アップグレードキットを準備のため時間が掛かりますので、ご希望の方は前もって楽器店でお申し込みの上、ご依頼ください。

アップデートには、Voyager以外に、MIDIインターフェース付のパソコン、アップデートファイル（Moogからのダウンロードファイル）、SysExデータを送信できるMIDIソフトウェア、たとえば、WindowsならばMIDIOX [www.midiox.com] 、マッキントッシュならSysEx Librarian [www.snoize.com] が必要です。
初めてMIDIによるアップデートをされる方は、アップデートを始める前に、MIDIインターフェースとMIDIでSysExを送信するソフトウェアについて、研究し慣れてください。
もし、MIDIインターフェースが「アクティブセンシング」メッセージを送っている場合は、少なくともこのアップデートをする間は停止させてください。

重要な注意： アップデートをする前にあなた自身が作成されたプリセットをパソコンに保存されることを強くお勧めします。このアップデートではプリセットのメモリー位置が移動するため、一部が消えます。保存の方法は取扱説明書でMASTERモードのSEND PRESETメニューを参照してください。

OSのアップデート
VoyagerキーボードのOS（オペレーティング・システム）をバージョン３．5にアップデートするファイルは４つのMIDIシステムエクスクルーシブ（SysEx）ファイルで提供されています。ファイルはBank A、Bank B、Bank C、Bank D用があり、それぞれ約40キロバイトです。手順は次のとおりです。

１．パソコンのMIDIインターフェースのMIDI OUTをVoyagerキーボードのMIDI INに接続します。
２．パソコン、Voyager両方の電源を入れます。
３．MIDI SysEx送信用のソフトウェアを立ち上げます。
４．まず、アップデートファイルの「RME_bank_**B**_350.syx」をソフトウェア上にロードします（開きます）。
５．VoyagerのMASTERモードでRECEIVE UPDATEメニューに入り、CURSORボタンでYESとしてENTERキーを押します。
「Waiting for System Exclusive Data Transfer」と表示され、アップデートデータを待ちます。
６．MIDI SysEx送信用のソフトウェアで送信を開始します。Voyagerは受信状況をバー表示し、終わると再起動します。

７．この回で再起動すると、Voyagerのディスプレーには
「The Operating System has to be reloaded. Re-load Bank **D**? (Yes/No)」
と表示されます。CUSORボタンでYESにしてENTERボタンを押すと、
「Waiting for System Exclusive Data Transfer of Bank **D**」
と表示され、受信待ちになります。
８．アップデートファイルの「RME_bank_**D**_350.syx」をソフトウェア上にロードします（開きます）。
９．MIDI SysEx送信用のソフトウェアで送信を開始します。Voyagerは受信状況をバー表示し、終わると再起動します。
１０．次は、アップデートファイルの「RME_bank_**A**_350.syx」をソフトウェア上にロードします（開きます）。
１１．先の５，６，の手順と同様にアップデートデータの送受信を行います。
１２．この回で再起動すると、Voyagerのディスプレーには
「The Operating System has to be reloaded. Re-load Bank **C**? (Yes/No)」
と表示されます。CUSORボタンでYESにしてENTERボタンを押すと、
「Waiting for System Exclusive Data Transfer of Bank **C**」
と表示され、受信待ちになります。
１３．アップデートファイルの「RME_bank_**C**_350.syx」をソフトウェア上にロードします（開きます）。
１４．MIDI SysEx送信用のソフトウェアで送信を開始します。Voyagerは受信状況をバー表示し、終わると再起動します。
１５．この回で再起動すると、Voyagerのディスプレーには
「The Operating System has to be reloaded. Re-load Bank **D**? (Yes/No)」
と表示されます。CUSORボタンでYESにしてENTERボタンを押すと、
「Waiting for System Exclusive Data Transfer of Bank **D**」
と表示され、受信待ちになります。
１６．アップデートファイルの「RME_bank_**D**_340.syx」をソフトウェア上にロードします（開きます）。
１７．MIDI SysEx送信用のソフトウェアで送信を開始します。Voyagerは受信状況をバー表示し、終わると再起動します。
１８．再起動するとVoyagerはPANELモードになって、アップデートは完了です。

© Moog Music 2010, all rights reserved